



東京六戸会会長

杉山 達成

新年明けましておめでとう  
ございます。東京六戸会なら  
びに六戸町の皆様には健やか  
な新年をお迎えのことと存じ  
ます。日頃、東京六戸会会員  
の皆様ならびに町長をはじめ  
とする役場、町民の方々のご  
支援とご協力で厚くお礼申し  
上げます。

さて、昨年は、長年会長と  
して会の運営に尽力されてき  
ました高坂氏はじめ一部役員  
を改選したことが、何をさし  
おいても「じえじえ」で  
はないでしょうか。当会は、  
昨年で設立十五年を迎え、そ  
れを機に若い後輩（とは言っ  
ても四十三年卒の選歴ですが  
…）にバトンタッチした訳で  
ありますが、平成二十四年に  
会員となり昨年会長となった  
私はその歴史に比べるとまだ  
まだ「ひよこ」であります。

しかし、重責である会長に  
なったからには、現状維持で  
はなく、少しでも活性化、前  
進するような会にしたいとの  
抱負を持っております。その  
為には会員皆様のご協力・ご  
支援を切にお願いいたします。

当会員数は二百七十名前後  
で推移しており、新規加入者  
も増えていない現状でありま  
す。実は、私も恥ずかしい話  
ですが、東京六戸会自体があ  
るとは全く知りませんでした。  
若い時は特段同郷の事を考え  
たり、思ったりしたことは全  
然無かったのです。ある出来  
事が切っ掛けでインターネッ  
トにて初めて知り、「ろくの  
へ」と言う言葉が懐かしく、  
子供の頃の思い出が走馬灯の  
ように思い浮かんだ次第であ  
ります。

歳のせいなのか実際に会員  
の方と話す機会があると、懐  
かしい言葉（自分では東京の  
標準語のつもりが故郷の訛り、  
アクセントになったりしてい  
る等…）とか、あの場所とか  
あの人（結構関係があつて遠

い親戚だったりして驚くこと  
もあります…）とか話題に尽  
きることはなく、いろいろと  
ある現実の世界から離れて楽  
しいひと時であると感じてい  
るこの頃であります。

前置きが長くなりましたが、  
私と同様にこの会のある事を  
知らない同郷の方々がたくさ  
んいると思います。今後は行  
事の充実もさることながら会  
員の増加に努めたいと考えて  
おります。つきましては、東  
京近辺と言うか、首都圏には  
たくさんのお窓生がおり、会  
員の皆様の周囲にも同郷の知  
人がいると思います。この紙  
面をお借りして是非お誘いを  
お願いしたいと思います。今  
年はそれらを目標に活動した  
いと考えております。

一富士二鷹三なすびの夢み  
たいに「うま」く駆けぬけて  
良い年にしたいたいとは思っ  
て、倍返しにならないよう役  
員・会員の皆様と一緒にがんば  
りたいと思います。今後共  
ご支援・ご協力の程を宜しく  
お願い申し上げます。

東京六戸会会長 杉山達成

（六戸中 四十三年度卒）